

事業名	国際理解教育(サービスマーケティング)
分類	青少年育成(研修・啓発)
協力団体	小学校・中学校・高等学校・大学・任意団体
<p>活動概要</p> <p>学校が取り組んでいる総合的な学習や、国際理解教育、ボランティア教育などに協力する。子ども達が、世界の現状(貧困・環境・平和など)に目を向け、グローバルな視点から、国際理解(異文化理解)を深めると共に、自分理解の助けとなるような活動とする。学習方法は、講演、IT 機器による交流(メール、スカイプなどを利用)、ビデオ、文通、カンボジアの留学生・研修生などの話を聞く、現地を訪問するなど、できる限りの手立てを利用。そして交流した中で、異文化理解、持続可能な開発などについて考え、自分の生活を見直し、自分達の可能性と力に目覚め、進んで社会のために活動できる人材を育成する。</p> <p>1)設備・物資支援 (日本の学校からの寄付金はまとめて施設や教材に使用)</p> <ul style="list-style-type: none"> * 体育教育認定校、カンボジアキッズサッカー大会、他にボールや体操服などを贈呈 * 李音楽グループの協力により、ブランコと滑り台が設置され贈呈された。 → * HG睦日本語教室とNCCCへは学校から教材・文房具・歯ブラシ・カレンダー・石鹸など贈呈 * ツアーの場合は、事前に必要なものを聞き、現地に支援物資を持ち込んだ。 <p>2)交流支援</p> <ul style="list-style-type: none"> * 岡山大学 27 名、岡山学芸館高校・岡山清秀中学校 45 名、が訪問 → * HGスタディーツアー60 名、李音楽グループ 14 名、富山YMCAグループ 8 名の訪問・交流 <p>3)「3.11 子ども animo プロジェクト」として、東日本大震災被災学校の復興支援活動</p> <p>大きな被害を受けた宮城県の東松島市立野蒜小学校と石巻市立渡波小学校の学校復興を支援。本年は校外学習支援として、全校遠足、自然教室、卒業アルバム、鼓笛隊制服支援などを実施</p> <p>3月5日～8日支援学校訪問。野蒜小では有森先生の体育授業。渡波小では鼓笛隊交代式に参加。学校新聞やお礼の手紙などを受け取りました。支援をとっても喜んでもらっていたことを実感しました。 →</p> <p>4)授業協力(サービスマーケティング)</p> <p>HGスタッフ、カンボジアからの留学生、研修生などが、小・中学校で出前授業を実施(年間20回実施)。自分たちでできる国際協力について相談に乗りながら学校に協力</p>	
<p>成果 年間を通じて、途上国にかかわることで、それぞれが、貧困、環境、食料、人権、平和などが、どれもつながりをもって関係している事を知り、自分たちで出来る事があることを実感した。</p> <p>また、自分たちの環境、教育、家庭、地域などに目を向け、持続可能な社会を、協力して作ることに向かう。そして、自分たちが支援した物資などが、現地に渡され喜ばれたことを確認でき今後もできる支援活に、取り組む動機づけとなった。高校生には将来の進むべき道にも影響を及ぼしたようだ。自分の身の回りから変えていく事に気が付き、友人や家族と共に活動して社会を変えていく喜びを感じた。児童たちからのプレゼントを手作りの袋に入れて渡す。 →</p>	
<p>参加学校 など ①岡山市立平福小学校 ②岡山市立福島小学校 ③岡山市立西大寺小学校 ④岡山市立第3藤田小学校 ⑤岡山市立野谷小学校 ⑥岡山市立政田小学校 ⑦岡山市立石井中学校 ⑧岡山市立御津中学校 ⑨岡山清秀中学校 ⑩倉敷市立精思高校 ⑪岡山学芸館高校 ⑫東京都立千早高校 ⑬岡山大学 ⑭カンボジアチェイ小学校内HGむつみ日本語教室 ⑮カンボジアチャイルドケアセンター 他</p>	
<p>今後の計画 2012年度もカンボジアから岡山学芸館高校に留学予定。カンボジアからの招へい者も、できる範囲で学校訪問をして、直接顔の見える交流の機会を増やす。学校が取り組むESD「持続可能な開発のための教育」に協力して、実践を通して地球規模で未来を考え、社会性を育てる。</p>	
<p>助成・協力団体 岡山ESD協議会、個人支援者、協力学校、李広宏音楽グループ、大光電機㈱</p>	

